

# 神戸市 教育委員会だより

2026年5月発行

発行  
神戸市教育委員会

## 部活動から「KOBE◆KATSU」へ

本市では、2026年9月の「KOBE◆KATSU (コベカツ)」開始に向けて、取組を進めています。

### コベカツクラブへの申込を順次受付中！

9月からのコベカツへの参加申込が始まっています。  
「活動紹介」のページをチェックして、興味のある活動を見つけましょう。



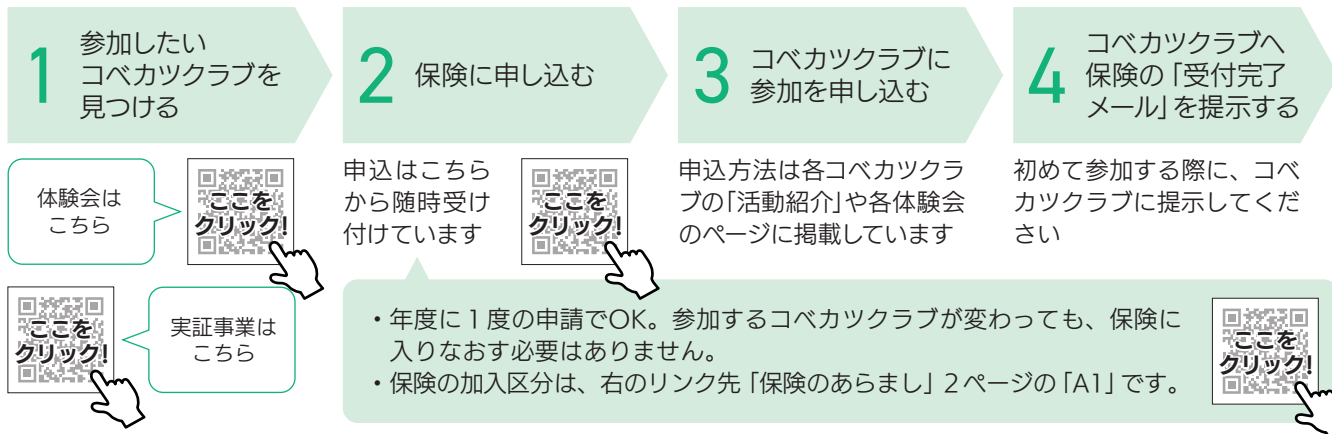
### コベカツを体験しよう！

一部のコベカツクラブでは、各クラブで活動場所を確保し、随時「体験会」を実施しています。コベカツ専用ホームページ「コベカツニュース」等で参加者を募集しています。

#### ●参加方法 (中学生)

コベカツに参加する場合は、万が一の事故に備えて、以下の手続きに沿って「スポーツ安全保険」に申し込んでください。(市立中学校に通う生徒の保険料は、市が負担します。)

体験会 (実証事業) に参加する場合も、保険の申込が必要です。



※小学生が参加できる活動もあります。対象者・保険加入等の詳細は、各コベカツクラブのページをご確認ください。

7月以降、コベカツクラブが登録されている中学校等での「体験入会」を順次実施する予定です。

開始時期については、決まり次第お知らせいたします。

※各中学校の部活動の状況等を踏まえて決定するため、コベカツクラブによって開始時期が異なります。

#### ●実証事業の活動紹介 (一部)

##### ■五感くらぶ

毎月1回(土曜日)は「デジタルオフデイ」。羊毛やミツロウなど自然素材や味噌作りといった季節の手仕事を通して、五感で感じる体験活動をたのしみます。



##### ■広陵サッカークラブ

「サッカーをもっとみんなのものへ」。サッカーを通して仲間と共に成長できる、居場所となる。そんなクラブを目指しています。毎週水曜に活動をしています。



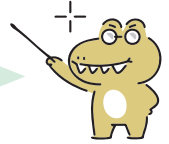
# 子供が主役の学びの実現を目指して

本市では、これまでの一斉指導型中心の授業スタイルから、子供たちが自分にあった学び方を主体的に選択し、他者と協働しながら学び合い、深い学びにつながる授業へと改善を進めています。



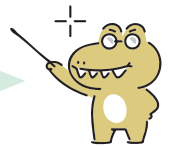
## なぜ授業を変えるの??

変化が激しく予測困難なこれからの時代。子供たちには、自ら課題を見つけ、考え、行動し、他者と協働しながら解決していく力が求められます。これまでの「一斉に教わる」学び方だけでは、こうした力を十分に身につけることは難しくなっています。好奇心や探究心をもって主体的に学び、学ぶ楽しさを実感できる授業づくりが、重要になっています。



## どんな授業なの??

授業のめあて・目標に向けて、自分に合った学び方を選び、友達との対話を通して考えを深めます。自分に合った学び方が見つかれば、主体的に取り組む姿勢につながります。先生は、一人ひとりの学習状況を丁寧に見取りながら、子供たちがよりよく学べるよう支えています。



### 一斉指導型の授業

これまでは、先生が説明し、全員が同じペースで学習を進める一斉指導型授業が中心で「受け身」の学習になりがちでした。



学習内容や場面にに応じて、子供たちにとって効果的な授業スタイルを取り入れています。

### 自分に合った学び方で主体的に学ぶ授業も

#### ●授業の進め方の例

<学習目標>台形の面積の求め方を考えて、説明しよう！（小学校算数）

#### ①学習の見通しをもつ

問題に取り組む前に、いろいろな考え方を話し合います。



#### ②自分に合った学び方で考える

ひとりで学ぶ、友達と協力する等、学び方を自分で選びます。先生は一人ひとりの学習状況を見取り、必要に応じて支援します。



#### ③学習内容・学び方を振り返る

それぞれで考えた内容を共有して、みんなで学びを深めます。先生は、単に答えや方法を教えるのではなく、考え方を整理し、これからの学習につながるようまとめます。



## デジタルドリルが新しくなりました！家庭学習でもぜひ活用してください！

2026年度から、デジタルドリルが「ドリルパーク」に変わりました。これまで同様、オフライン利用も可能です。

### ●AIが理解度に合わせて出題！

得意な分野は応用まで。苦手な分野は基礎をしっかりと。自分のペースで学習を進めることができます。解答にかかった時間やこれまでの正答状況をAIが分析し、一人ひとりに合った問題が出題されます。間違えた問題だけピックアップして解き直せるので、つまづいたところもしっかりフォローできます。

### ●選択式以外の出題形式も！

選択式問題だけでなく、テキスト入力で解答する問題が中心に出題されます。漢字の書き取りも、手書きで解答する問題が出題されます。

# コミュニティ・スクールの推進 ～「地域とともにある学校」を目指して～

コミュニティ・スクールは、学校の運営を学校だけで決めるのではなく、保護者や地域住民の代表などが参加する「学校運営協議会」を設置し、意見交換を行い、協力して学校運営を行う仕組みです。本市では、全ての市立の学校園に「学校運営協議会」を設置して、未来を担う子供たちの成長を地域全体で支える取組を進めています。

## どんな人が学校運営協議会に参加してるの？

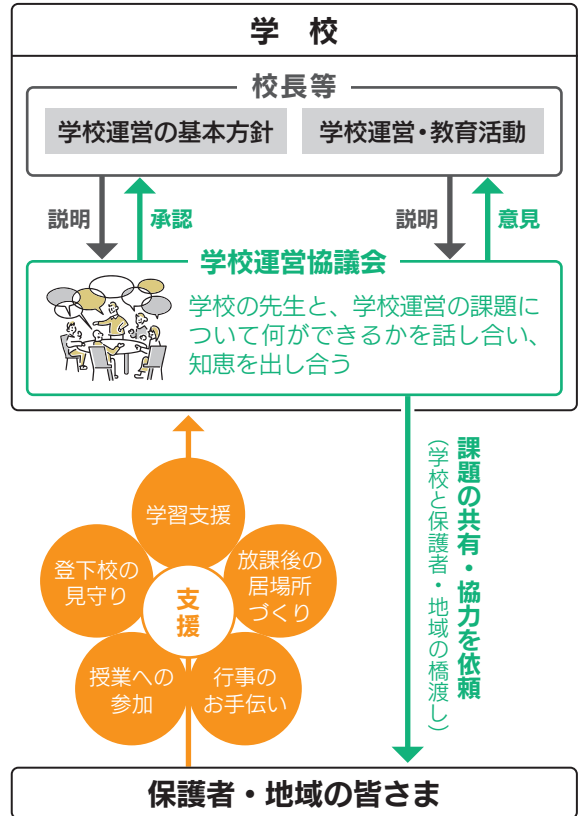
保護者や地域団体の関係者、卒業生、学識経験者のほか、NPOや企業、大学生など、学校によって様々です。校長が推薦し、教育委員会が委員として任命しています。

## 学校運営協議会はどんなことをしているの？

学校が学校運営の基本方針や教育活動を学校運営協議会で委員へ説明し、目標や課題を共有します。委員は、課題の解決のために意見を出したり、子供たちの見守りや昔遊びなどの体験学習への協力などを他の保護者や地域の方に呼びかけたりしています。また、2026年度からは、教員の働き方改革の取組についても学校運営協議会で話し合い、地域全体で取り組むこととしています。

## 子供が通う学校の学校運営協議会はどんな活動をしているの？

学校運営協議会で議論した内容は、各学校のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。  
※2026年度に設置した学校を除く



# スマホとのかかわり方を見直しましょう

こども家庭庁の調査によると、小中高生のネット利用時間の1日平均が5時間27分でした。ネットが生活に欠かせないツールである一方、スマホへの依存や、脳の発達への影響が問題となっています。このような問題が注目される中、3月15日にスマホとの付き合い方を見つめ直すフォーラムを開催しました。

## ●榊助教(東北大学)による講演

講演では、「毎日3時間以上スマホを使うと成績に影響する?」「学力低下は睡眠・勉強時間の減少ではなくスマホ利用自体の影響」「3時間の『ながら勉強』は30分集中した勉強と効果が同じ」など、驚きの分析結果が報告されました。

## ●教員・保護者も参加したパネルディスカッション(主な意見)

- ・スマホのゲームやSNSでトラブルに巻き込まれることが多くなっている
- ・学校では児童生徒自身がルールを決める取組が広がっている
- ・スマホよりも面白い現実の世界があるのを知ってほしい
- ・子どものスマホ利用ルールではなく大人も含めた家庭のルールをつくるのが一つの解決方法ではないか

今後、スマホとの付き合い方を考える動画を作成し、学校で活用していきます。また、ご家庭でも視聴できる準備を進めています。この機会にご家庭でのスマホに関するルールも見直してみましよう。



▲フォーラムの様子

# 健康管理に気を付けましょう

ゴールデンウィークが明け、新年度の緊張感の薄れや連休疲れなどで、心身ともに不安定になりがちな時期です。気候や天候の変化も重なるため、健康管理には一層の注意が必要です。お子さまの体調のことでご不安なことがあれば、学校園にご相談ください。

## ●熱中症

子供は体温の調節能力が十分に発達していないため、大人以上に熱中症への注意が必要です。学校園では、気象状況などに懸念がある場合、行事を中止や延期することがあります。ご理解とご協力をお願いします。

ご家庭でも、外出時には水筒を持参し、帽子や日傘を使用するなど、対策をお願いします。

## ●起立性調節障害

自律神経の働きが悪くなり、起立時に身体や脳への血流が低下する病気です。朝に起きることができない、全身倦怠感、頭痛、立ちくらみなどの症状が起こります。症状は午前中に強く現れる傾向があります。近年、起立性調節障害と診断される子供たちが増えていきます。お子さまの状態に気になることがあれば、学校園までご相談ください。

## ●化学物質過敏症

合成洗剤や柔軟剤、排気ガス、建築資材などの化学物質が原因で、嗅覚過敏やかゆみ、頭痛、めまいなどの体調不良を引き起こすことがあります。柔軟剤などは、自分にとってはよい香りでも、他の人の体調不良の原因になることもありますので、ご配慮をお願いします。お子さまの化学物質過敏症に関してお困りの際は、学校園までご相談ください。



# 学校生活に関する相談窓口

教育委員会では、学校生活に関する相談窓口を設置しています。学校生活の中での悩みごとがあれば、どんな小さいことでも抱え込まずに早めにご相談ください。以下の窓口のほか、学校に相談しにくいこと、その他教育全般の意見や要望、どこに相談すればいいかわからないことは、「お困りごとポスト」へご相談ください。



相談内容	相談窓口	相談方法
学校・教育についてのお困りごと (いじめ・不適切指導・性被害・学校生活全般)	教育相談室	電話相談 0120-790-783 (フリーダイヤル) 月曜～金曜 [9時～17時] 078-360-3152 (直通)
		面接相談 078-360-3150 (予約制) 火曜～金曜 [10時～12時、13時～17時]
特別支援教育	特別支援教育相談センター	電話相談 078-360-2160 月曜～金曜 [9時～17時]
不登校	不登校支援相談センター	電話相談 078-366-0123 月曜～金曜 [9時～17時]
子供向けの相談窓口	こうべっ子悩み相談	電話相談 0120-155-783 (フリーダイヤル) [24時間受付]
	ひょうごっ子SNS悩み相談	学校で配られるチラシやカードをご確認ください。

# information

## ■防災気象情報の名称が変わります

気象警報が災害ごとに整理され、名称が変わります(5月29日～)。詳細は気象庁ホームページをご確認ください。

<臨時休業の対象となる気象警報>

変更後	大雨 土砂災害 暴風 暴風雪 大雪 (高潮)
-----	---------------------------

※気象警報発表時の対応については、各学校園からのお知らせをご確認ください。



## ■自校通級指導教室を100校に拡大

「自校通級指導」は、特性のある子供たちが、通常の学級で授業を受けながら、一部、特性に応じた指導を、在籍する小中学校で受けることができる指導形態です。4月から、小中学校100校で、自校通級指導を受けられるようになりました。通級指導をご希望の方は学校にご相談ください。



教育委員会へのご意見などは「お困りごとポスト」へ

お困りごとポスト

